



学生相談室 相談員  
経営学部専任講師  
平屋 伸洋

# 相談室の 窓から

## はじめての写経

学生相談室は2020年9月15日に「はじめての写経」というイベントを開催した。オンラインでの開催ではあったが、ふたを開けてみると38名(10学部+大学院)の学生が参加してくれた。イベント終了後、参加者から「自分と向き合える静かな時間を過ごせました」「写経を行う中で自分の頭の中を整理することができました。悩んでいることが多くありますが少し気持ちが軽くなつたように思います」「電子機器をいじる時間が長くて心や体が疲れていましたが、写経をすることで少しずつきました」「短い時間だったけれど、とても有意義だった。自分1人だとすぐに集中が途切れてしまうが、誰かと一緒にやっているというだけで楽しかった」といったコメントが寄せられた。コーディネーターとして嬉しい限りである。

ここで本イベントについて簡単にご紹介したい。イベントの冒頭、「般若心経」や「空」の概念について簡単な説明を行うが、その後は時間の許す限りただただ写経に集中する。スピーカーからは清流の水音が聞こえ、10分間隔で響きわたるティンシャに心耳を澄ます。日頃の喧騒から

解き放たれ、学生が少しでも自分自身と向き合うきっかけになれば幸いである。

コーディネーターとしてのもうひとつの収穫は、コミュニケーションについて考える機会を得たことである。イベントの企画段階では「非言語的コミュニケーション」をコンセプトとした。対話ではなく、時間と空間を共有する。お互いに近からず遠からずの絶妙な距離がうまれる。参加してくれた学生もそれをよく理解し、慎み深く写経に取り組んでくれた。初めての試みではあったが、参加者の理解と協力があってこのイベントであったと彼らに感謝している。

大学では一般に、「言語的コミュニケーション」が重視される。プレゼンテーションが上手でディスカッションに負けない人間が育つ一方で、相手の「ものさし」を理解せず、自分の「ものさし」を振りかざす人も少なくない。察する、いたわる、思いやる、など。洗練されたある種の感度を育む場があつてもよいのではないだろうか。ソーシャルディスタンスの重要性が叫ばれて久しい。精神的にも肉体的にも相手との距離が遠くなりつつある今日、ポストコロナ時代を生きる人間にこそ、コミュニケーションの幅と奥行きが求められるような気がする。

## 学生相談室について

- 駿河台キャンパス 大学会館2階 TEL:03-3296-4217  
和泉キャンパス 第一校舎2階 TEL:03-5300-1178  
生田キャンパス 中央校舎2階 TEL:044-934-7619  
中野キャンパス 低層棟4階 TEL:03-5343-8080

### 開室時間

月～金 10:00～17:00

- 相談の予約は開室時間内に原則電話にてお受けします。
- 予約状況などから、面談が申込翌日以降になる場合もありますので、ご了承ください。
- 土曜日(9:00～12:00)に面談をご希望の場合は、事前にご相談ください。
- 夏季休業期間中、入試期間中など、開室時間を変更する場合がありますので、掲示、ホームページでご確認ください。  
<https://www.meiji.ac.jp/soudan/>

新型コロナウイルス感染症の影響拡大に伴い、当面の間、電話およびオンラインにて相談を行っています。学生相談室ホームページで最新のお知らせをご確認ください。